

# 競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会競技注意事項により行う。

2 競技者の招集について

(1) 招集場所は、競技場内自動販売機前に設ける。

(2) 招集開始時刻および招集完了時刻はすべてその競技開始時刻を基準とし、下記の通りにする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻	種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	棒高跳	50分前	40分前
フィールド競技	40分前	30分前			

(3) 招集方法

ア. 競技者は、出場種目の招集開始時刻までには招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集開始時刻には各競技場所へ移動を開始する。

イ. 当該競技を棄権する場合は、必ず棄権届を招集開始時刻前までに競技者係に提出すること。

ウ. 他の種目とほぼ同時時刻に兼ねて出場する競技者は、予め2種目同時出場届を提出し、その旨を必ず競技者係に申し出ること。(トラック競技を優先とする)

エ. リレー競技のオーダーの提出は、その種目の招集完了時刻の1時間前とする。

3 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。

4 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。

5 トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所点呼の時に受け取り、右腰やや後方につけること。

6 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい。

7 棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。

【女子】練習 1m50 競技 1m60 以降 10cm 上がり

【男子】A・練習 2m70 競技 2m80 以降 10cm 上がり

B・練習 1m50 競技 1m60 以降 10cm 上がり

※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。

8 三段跳の踏切板は、砂場から男子は 11M と 8M、女子は 7M する。

9 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

【共通男子】練習 1m20 競技 1m20～1m70 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり

【共通女子】練習 1m10 競技 1m15～1m40 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり

※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする

10 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てきの用器具については検定を通ったものを使用しても良い。

11 競技場の競走路・助走路は全天候舗装のため、競技用靴のスパイクの長さは 9mm 以下を使用しなければならない。走高跳・やり投は 12mm 以下とする。

12 その他

※ 砲丸の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	7.260kg	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg

※JH・YHの設置

	ハードルの高さ	スタートから第1ハードルまで	ハードル間
男子 JH	0.991m	13.72m	9.14m
女子 YH	0.762m	13.00m	8.50m